

くりはま花の国はち育実施中！！

今回は、くりはま花の国で飼育されている、みつばちの内部検査に同行させていただきました！！

内部検査は、約1週間に1回行われています。内部検査の狙いは以下3つです。

- ①産卵の確認：何枚かの巣枠をみて、問題なく産卵しているか確かめます。
- ②餌の確認：はちみつの貯蔵状態を確かめます。
- ③病害虫の発見：みつばちの体液を吸い取ってしまうダニを発見し、病気にすみやかに対処できるようにします。



内部検査の簡単な流れ



燻煙器を使い、煙を巣箱に入れます。それによってみつばちに、火事が起きたと錯覚させ、意識を煙に向けさせます。



巣箱の上から数回ノックし、巣箱を開けます。巣枠をひとつずつ取り出し、左記に記載されている①②③の確認をします。



①②③の確認が終了したら、巣枠を巣箱に戻します。その後、巣箱を最初の形に戻し、内部検査終了です。

はち育ってなに??

みつばちは、半径約2kmを飛び回り、地域の花々から蜜を集めて巣に戻ります。

また、農薬などの薬品や環境ホルモンに影響を受けやすいため、巣でのみつばちの様子を観察すると身近な自然の状態を推測することができます。

そして、みつばちが採取した蜂蜜を通し、地域の花を味わうことができます。はち育とは、みつばちの特性を生かし、子供から大人まで、身近な自然環境に興味を持つきっかけをつくる「環境教育プログラム」です。

※はち育で、採取した蜂蜜は、くりはま花の国で購入することができます。

お問合せ先 くりはま花の国 046-833-8282

今日から君も
みつばち博士！



みつばち豆知識

- ①みつばちの巣には、メス蜂が8割いるのに対し、オス蜂が2割しかいません。
- ②働き蜂の2割は、働かず休憩しています。
- ③オス蜂は、刺すことも、蜜をとることもできません。



久里浜行政センター